

iPadを使った授業の展開

南山城支援学校

NPO法人支援機器普及促進協会

専門主事 高松 崇

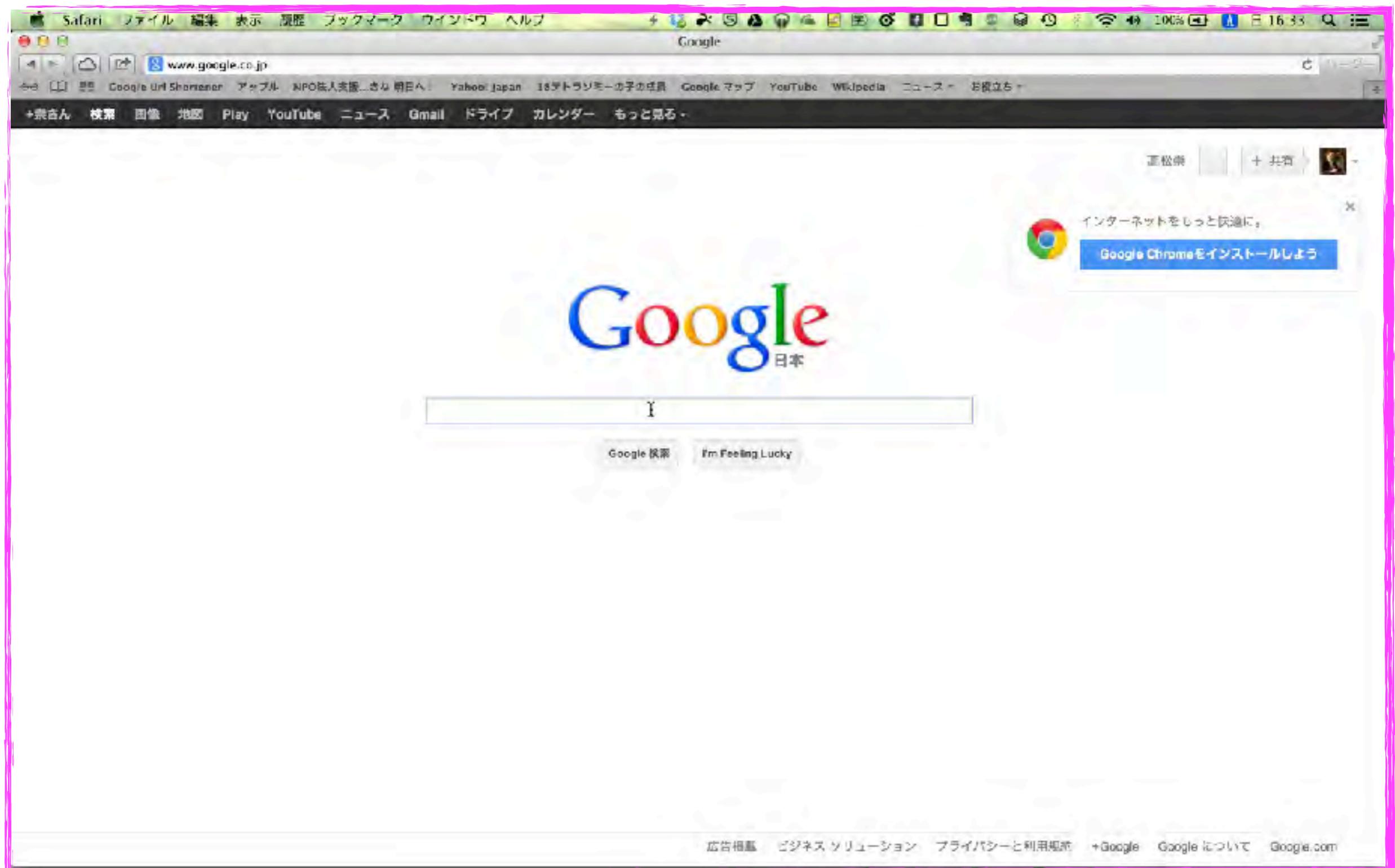
本日の資料

本日の資料はスライド枚数が
多くなっておりますので、
紙での配布はしておりません。
インターネットより
ダウンロードしてお使いください。

ピンクで囲まれている画像は動画ですので
PDFファイルでは視聴できません。
YouTube等で検索してみてください。

その代わりと言つては何ですが
録音・録画・撮影
どんな記録をしていただいても
結構です。

本日の資料のダウンロード方法



<http://npo-atds.org>

本日の機器構成



Self-introduction

主な活動と経歴

●本年度

京都市教育委員会 総合育成支援課 専門主事

京都府 特別支援教育京都府専門家チーム（宇治支援学校SSC）

NPO 支援機器普及促進協会 理事長

●昨年度以前

京都市 吳竹総合支援学校・東総合支援学校 特別非常勤講師

京都市 携帯電話市民インストラクター

京都市 ICT活用支援員（総合支援学校ICTコーディネーター）

京都市 総合育成支援員（発達障害児支援）

京都市 精神障害者授産施設 京都市朱雀工房 統括職業生活支援員

京都市 地域若者サポーター（引きこもり支援）

京都府教育委員会 社会教育委員

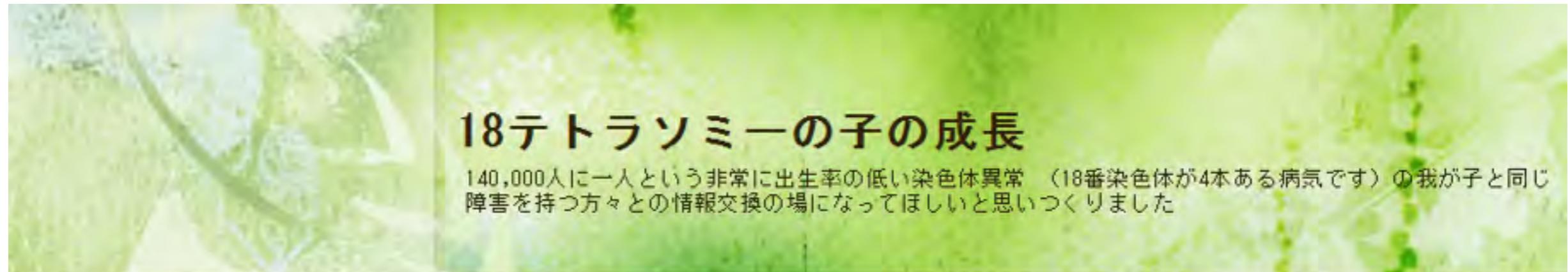
京都府高等技術専門校 在職者訓練インストラクター

中小企業基盤整備機構 経営改善アドバイザー

私も、京都府立向日が丘支援学校 中学部1年生の三男があります

18番テトラソミー

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常（18番染色体が4本ある病気です）の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりました



❶ プロフィール

プロフィール | なう | ピグの部屋

ニックネーム: memis18

性別: たかちゃん

自己紹介:
18番テトラソミーと生まれ育った普通の男の子

2014-12-27 13:54:33
テーマ: 成長記録

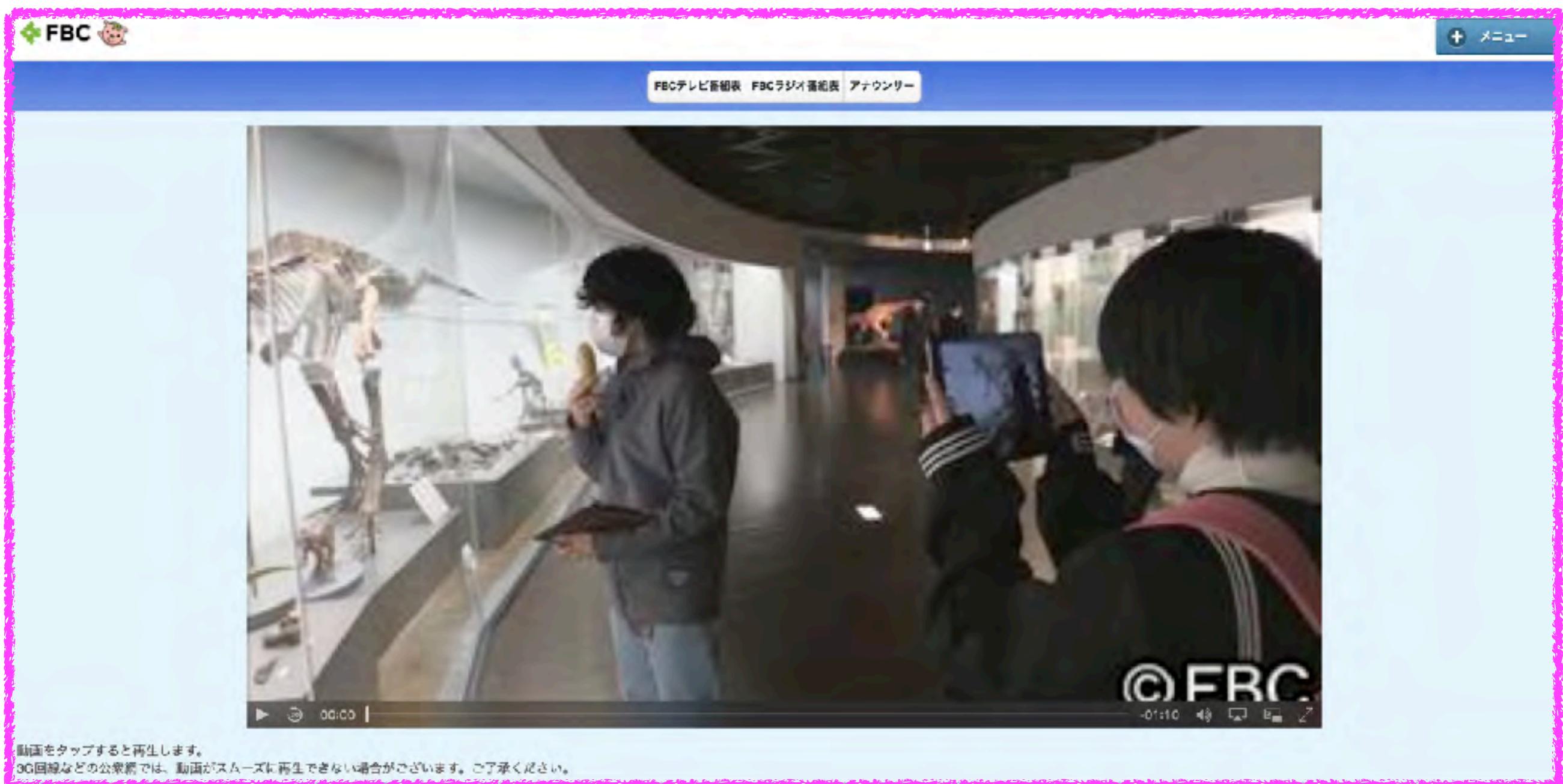
12月7日にはお母さんと一緒に
SL北びわこ号（米原から木ノ本）にも乗ってきました
梅小路機関車館のSLとは違い、40分の自然の中を走ったそうです

A photograph showing two children standing in front of a black steam locomotive. One child is holding a colorful sign that reads "SL 北びわこ号" and "2014年12月7日". The locomotive has "SL 北びわこ号" and "SL" on its side.



Topics

福井東特別支援学校 遠隔授業で恐竜をPR



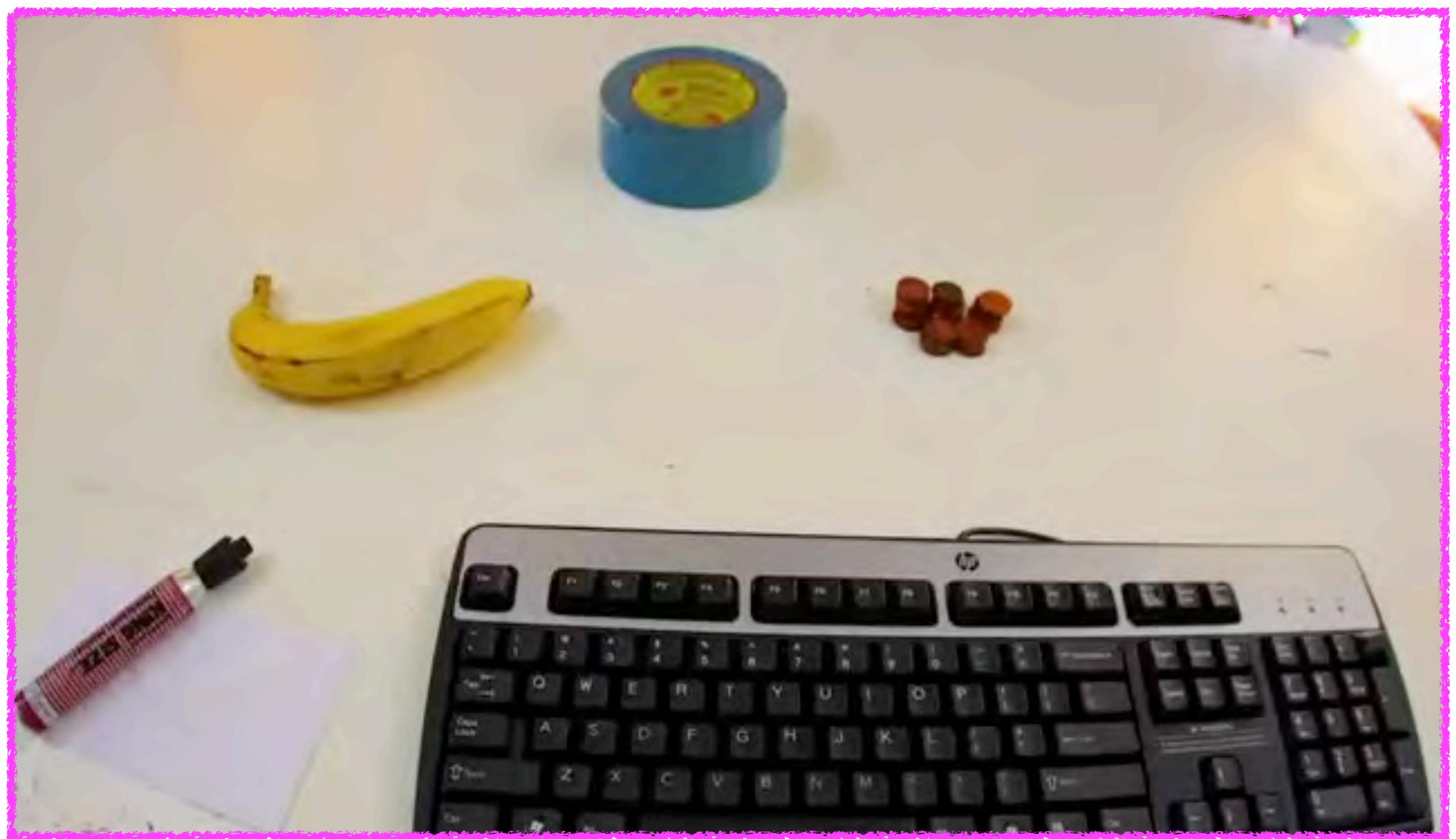
動画をタップすると再生します。

3G回線などの公衆席では、動画がスムーズに再生できない場合がございます。ご了承ください。

MaBeee



MaKey MaKey



Pechat | すべてのぬいぐるみを、おしゃべりに。



Autonomy • Subjectivity • Independence

自主性 • 主体性 • 自立

「自主性」とは？

単純に「やるべきこと」は明確になっていて、その行動人に言わ
れる前に率先して自らやることである。

自分で物事を考える習慣が付かない。反射的に行動をしてしま
がちになる。

「主体性」とは？

何をやるかは決まっていない状況でも自分で考えて、判断し行動
するということになる。

やるべきことをやるだけにとどまらず、場合によっては、今まで
やってきたことが効果的では無いからやめると判断することも出
来る。

指示待ちはダメ！



進んで行動できるように
なって欲しい



自主的に行動
できるように



主体的に行動
できるように

「自立とは」

「自立活動とは」

自立活動の目標は、

個々の児童又は生徒が自立を目指し,障害による学習上又は生活上の困難を**主体的に改善・克服**するために必要な知識,技能,態度及び習慣を養い,もって心身の調和的発達の基盤を培う。

とされている。ここでいう「**自立**」とは、幼児児童生徒がそれぞれの障害の状態や発達段階に応じて、主体的に自己の力を可能な限り發揮し、**よりよく生きていこうとする姿**を指している。また、「調和的発達の基盤を培う」とは、幼児児童生徒の個々の発達の遅れや、個人内に生じている発達の不均衡（個人内差＝障害に由来する、できることとできないことの差）を改善したり、発達の進んでいる側面をさらに伸ばすことによって遅れている側面の発達を促すようにしたり等によって、**全人的な発達を促進**することをねらいとしている。

自立は、依存先を増やすこと

熊谷晋一郎さん（くまがやしんいちろう）

小児科医／東京大学先端科学技術研究センター・特任講師
1977年、山口県生まれ。

“障害者”というのは、「依存先が限られてしまっている人たち」のこと。健常者は何にも頼らずに自立していて、障害者はいろいろなものに頼らないと生きていけない人だと勘違いされている。けれども真実は逆で、健常者はさまざまなものに依存でき正在、障害者は限られたものにしか依存できない。依存先を増やして、一つひとつへの依存度を浅くすると、何にも依存していないかのように錯覚できます。“健常者である”というのはまさにそういうことなのです。世の中のほとんどのものが健常者向けにデザインされていて、その便利さに依存していることを忘れているわけです。

I Think First

iPadである必然性

携帯性

操作性

手書認識

音声認識

音声出力

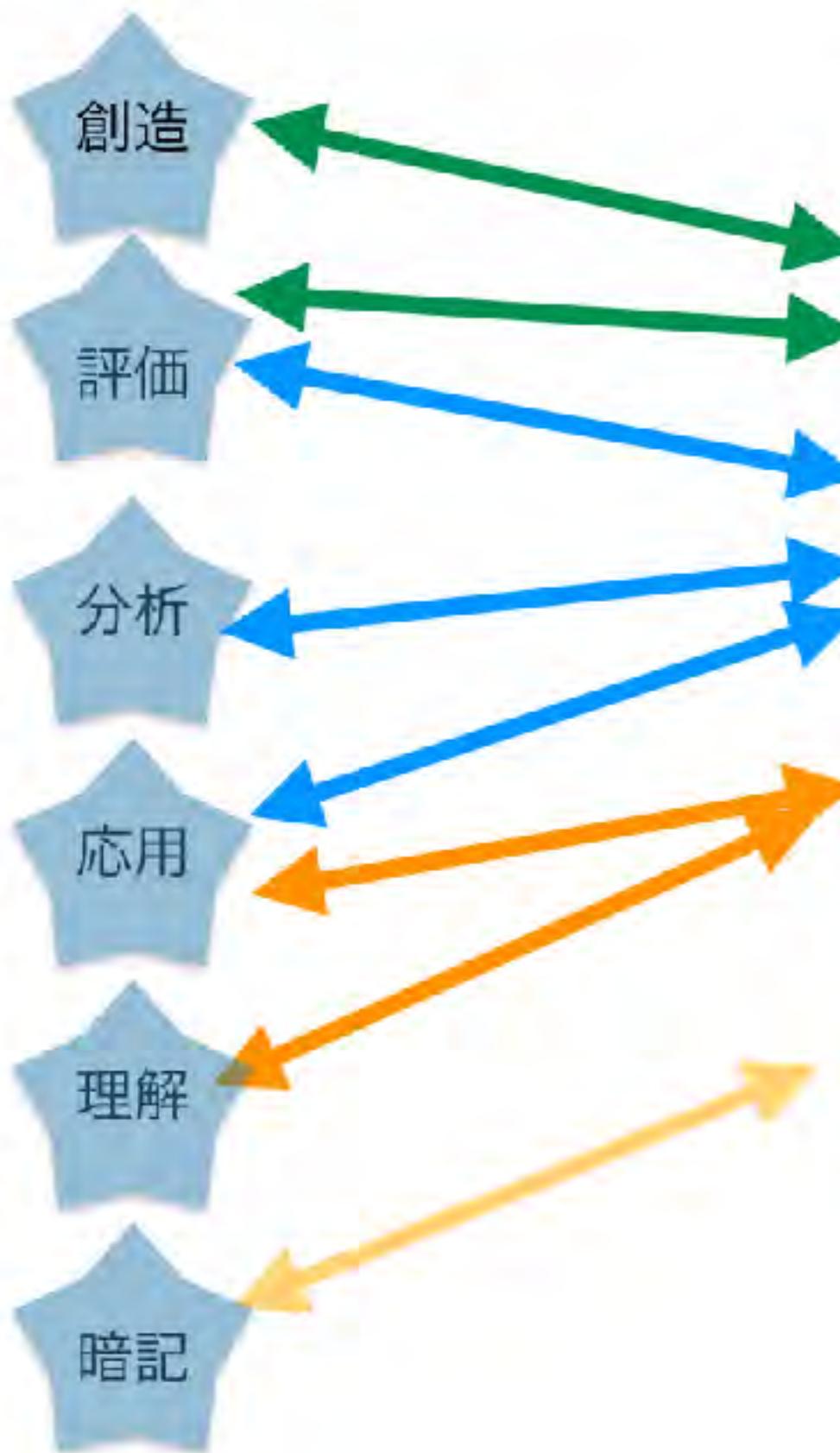
カメラ&パソコン

・・・

SAMR

BLOOM'S

Educators design a task that targets a higher-order cognitive skill level
教師はより高いレベルの認知スキルを目標として活動をデザインする



Educators design a task that has a significant impact on students outcomes
教師は生徒の成果物に劇的な変化を与えるような活動をデザインする

変革

Redefinition

ICTにより今まで実現できなかったような実践ができる

修正・変更

Modification

ICTにより実践内容をかなり修正することができる

増強

Augmentation

ICTは単に代替手段として扱われるが、活動に変化がある

代替

Substitution

ICTは単に代替手段として扱われ、活動に変化はない

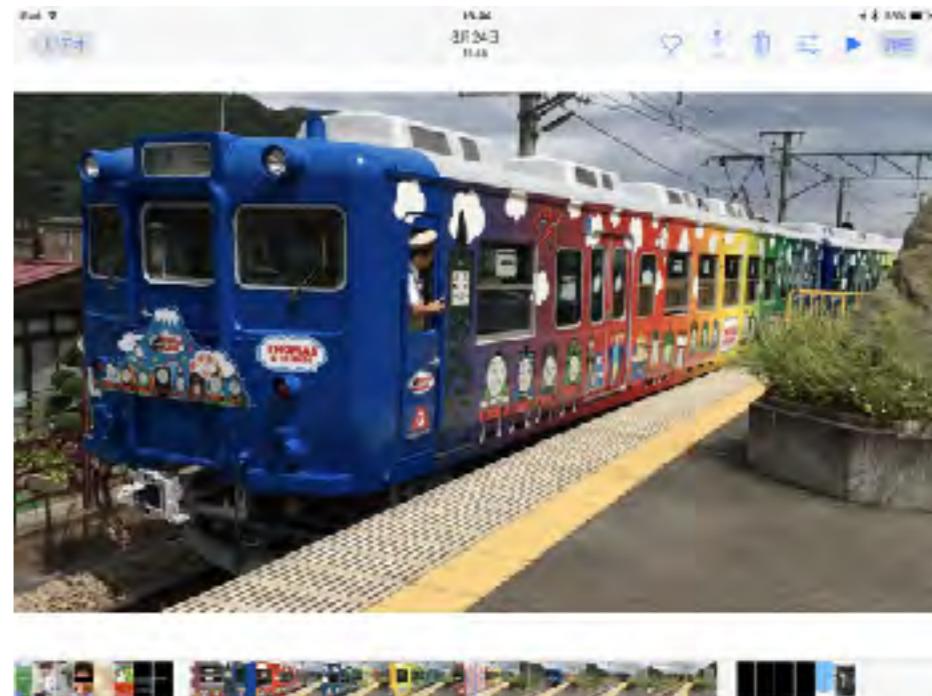
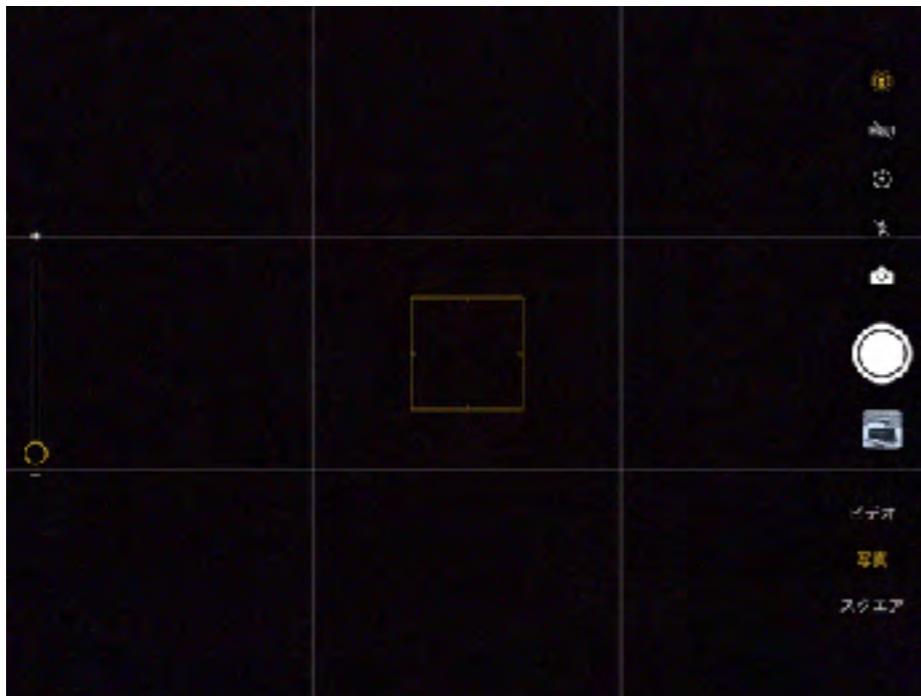
代替

ICTは単に代替手段として扱われ、活動に般化はない



代替

ICTは単に代替手段として扱われ、活動に般化はない



曲名	時長
1. いなないないばあっ! ~音楽の国~	0:42
2. おでかけどっすんご	1:34
3. げんき ぱなぎ!	1:24
4. いっぽいいっぽい!	1:27
5. 雨のおはなし	1:34
6. ピッシャンボン	1:51
7. そうじきロック	1:44
8. ピーポボバッたら雀舌	1:26
9. リンゴ	1:28
10. いろはいいろいいろ	1:26

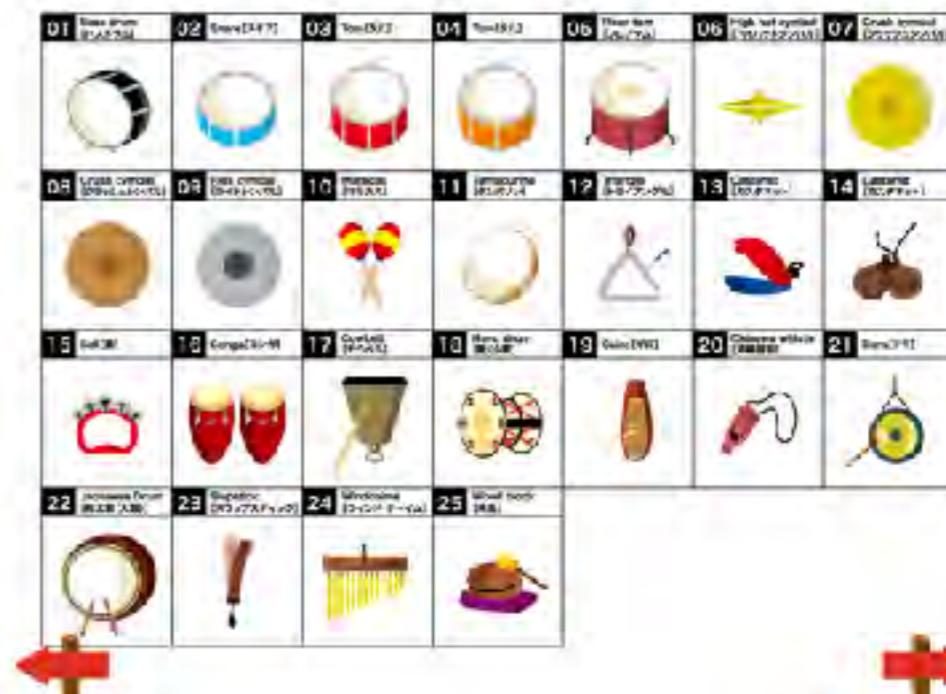
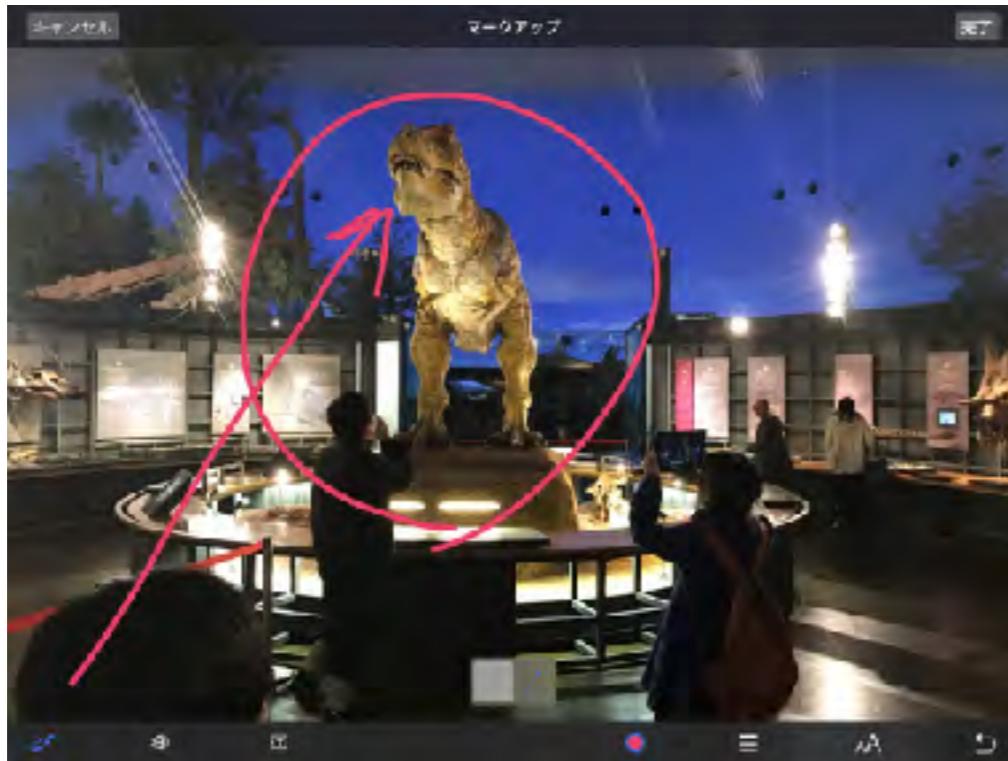
Point

All in One

操作性

増強

ICTは単に代替手段として扱われるが、活動に変化がある

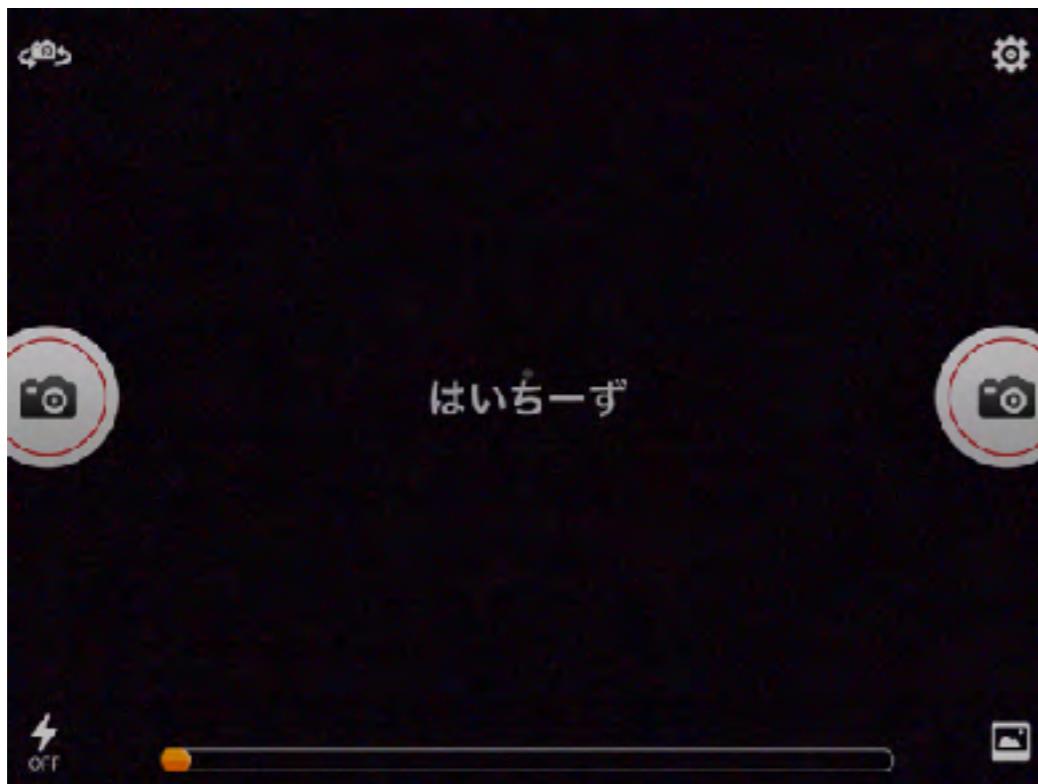
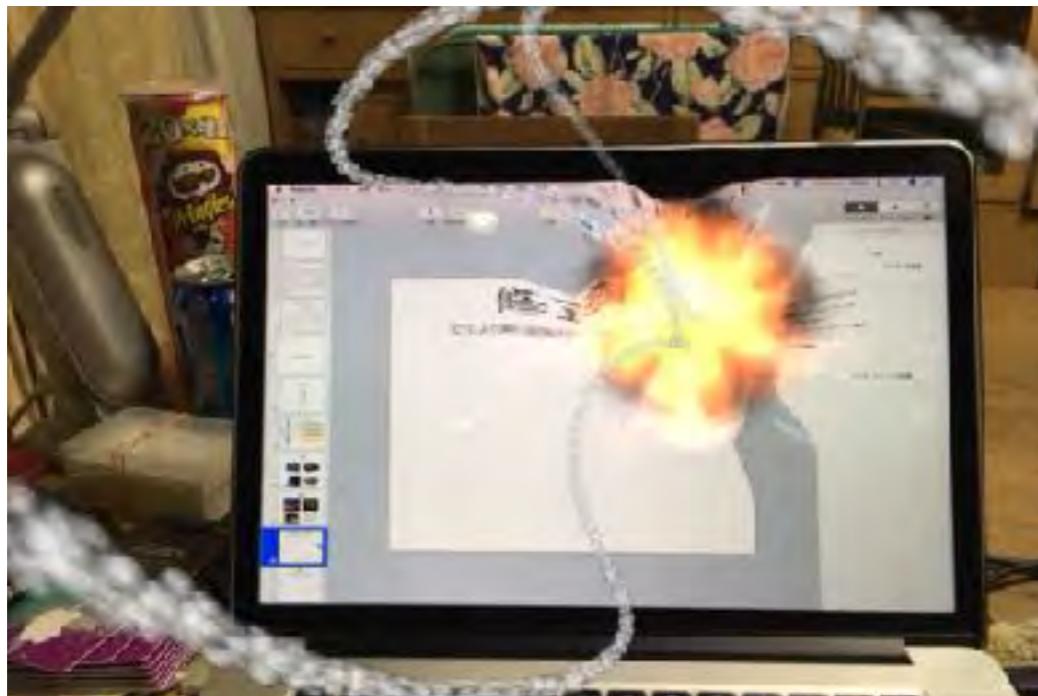


Point

カメラ＆パソコン 操作性

修正・変更

ICTにより実践内容をかなり修正することができる



Point

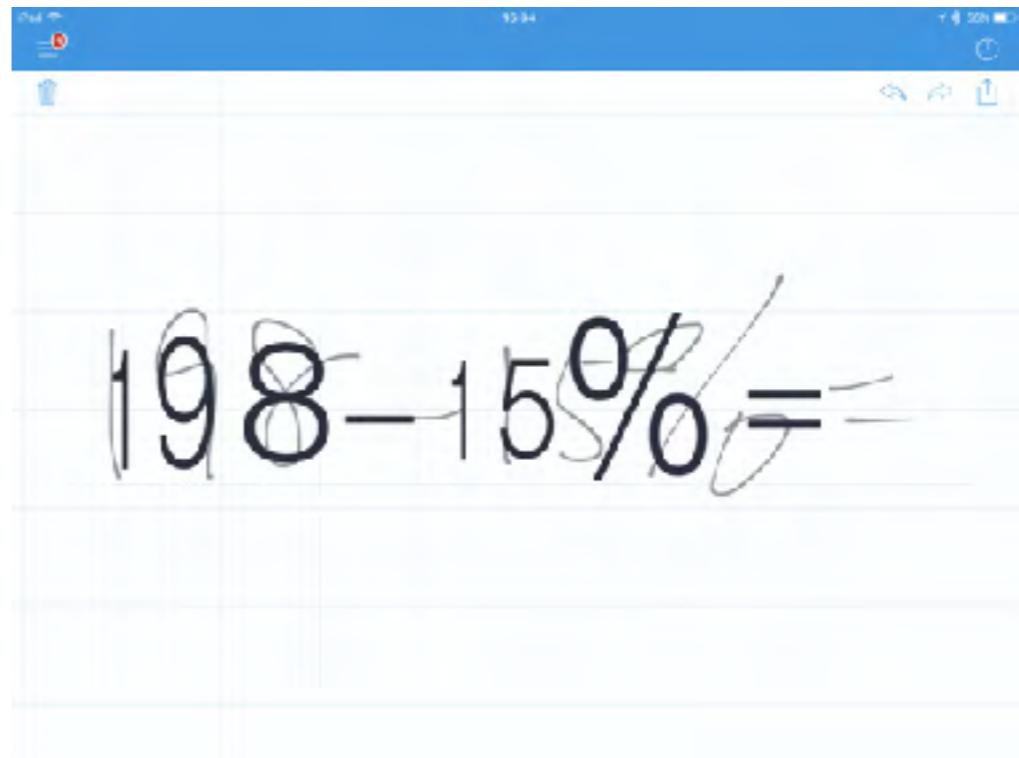
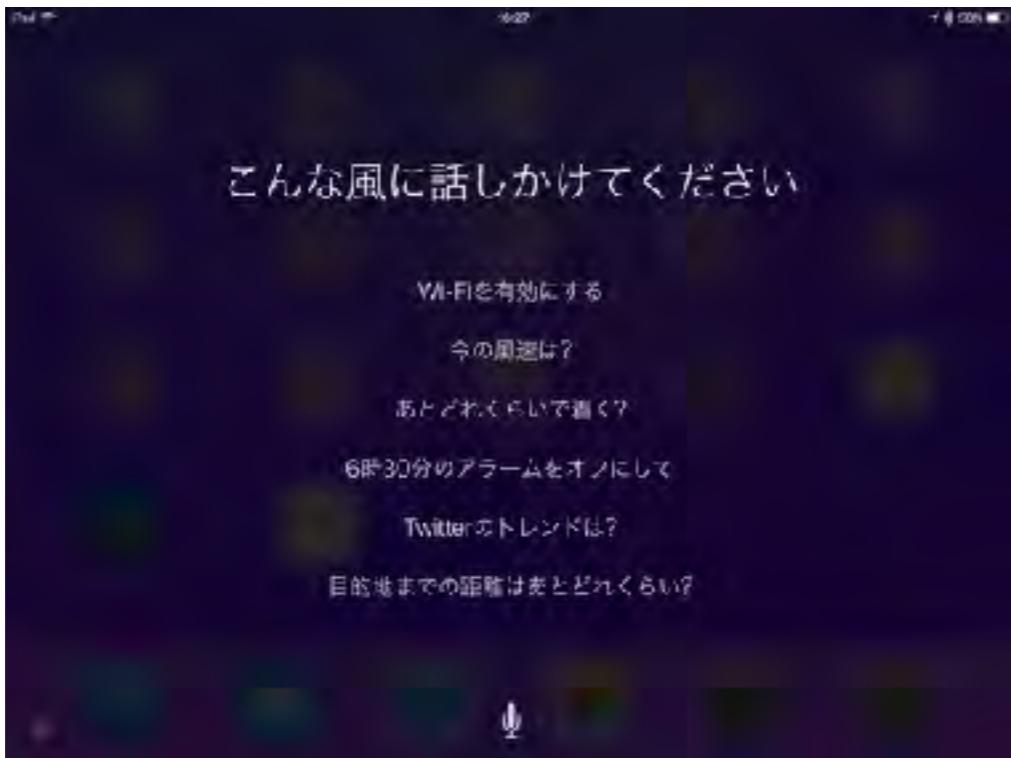
携帯性

操作性

音声認識

変革

ICTにより今まで実現できなかったような実践ができる



NPO法人支援機器普及促進協会 (ATDS)

ATDS

Assistive Technology Dissemination Society
NPO法人支援機器普及促進協会

TOPページへ戻る
研修会・プレゼン資料
アプリ操作マニュアル
当法人にあるAT機器の紹介
セミナーのご案内
トピックス
活動
リンク集
会員・審付
お問い合わせ
FAQよくあるご質問
文字サイズの変更

下書きを残すために、黒字で記入する。また青色、緑色、赤色で書くことができます。

毎日が生活の中のCO₂。生きやかに「やりたいこと」。
好きな本を読んだり、新しいことを学ぶたり、隣の部屋で一人で出かけたり—
それは、いいなようで、かしこくなっています。
そしてそれは、もしやしたら明日はやせる「可能性」かもしれません。

下書き欄は、そんな皆さんのおも、聞く、話す、覚えるなどのおもいきり手元にあります。うしのパートナーです。

毎日の「できること」を広げるため、NPO法人支援機器普及促進協会は、下書き欄に取り組んでいます。

フレンズ資料をアップしました

名前での登録料を削除し、プレゼン資料のページにアップしました。是非活用ください。

iPadの体験版を出し行なっております

環境省は、この問題を「脱炭素社会」の実現に向けた重要な課題として位置づけています。

一方で、日本は世界で最も温暖化対策に取り組んでおり、2050年までに温室効果ガスの排出量を2013年比で約80%削減する目標を掲げています。

そこで、ATDSでは、この目標達成に向けた取り組みとして、以下の点を強調しています。

- エネルギー効率化：省エネ技術の導入やエネルギー供給の多様化によるCO₂排出量の削減。
- 再生可能エネルギーの利用：太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入によるCO₂排出量の削減。
- 資源循環：資源の有効利用やリサイクルによるCO₂排出量の削減。
- 公共交通機関の利用：車両の低燃費化や公共交通機関の利用によるCO₂排出量の削減。
- 省エネ建築：建築物の省エネ化によるCO₂排出量の削減。

これらの取り組みを通じて、ATDSは、環境問題に対する意識を高め、実践的な取り組みを推進してまいります。

Point

手書認識

音声出力

音声認識

変革

ICTにより今まででは実現できなかったような実践ができる



Point

環境を整備すれば…

おもちゃと遊びの支援技術（AT）

- コミュニケーションの原点を考えていくと、子どもにとって遊びの場面がとても重要であることが分かります。他者との共感や共有の関係性、模倣やイメージ力の発展、人と物と人との三項関係など、コミュニケーションの基礎的な課題が遊びの場面にたくさん存在しています。
- しかし、重度の障がいのある子どもは、自分から主体的に他の子どもたちと関わって遊ぶような場面がありません。
- そこで、これまで培われてきた多様な支援技術を生かし、ハイテク機器の代わりにおもちゃをつなぐことで、重度障がい児の遊びの場面を拡大、充実させることを試みます。どんなに障がいの重い子どもでも、楽しく遊べるようになれば興味は広がり、みんなの仲間に入って活動できるようになれば、自然にコミュニケーションの力も発達していくはずです。

Reference book

夏合宿2017

in 福岡 志賀島

タブレット虎の穴 3rd

特別支援教育におけるアシスティブテクノロジー実践研究会
S-EAT (Special needs Education by Assistive Technology)

Produced by 一般社団法人 日本支援技術協会

暑い夏。熱い九州で AT の腕を磨く！

特別支援教育における ICT 利活用を学び教員のスキルアップを図ることを目的として開催いたします。

- 日程：2017年7月22日(土)～23日(日)
- 場所：休暇村 志賀島（福岡県福岡市東区大字勝馬 1803-1）
- 講師：新谷洋介／民間和仁／小川修史／金森克浩／高松崇（50音順）
- 参加費：38,000円

研修会費（2日間）、宿泊費（1泊）、食費（昼食2回、夕食1回、朝食1回）を含みます。ただし、宿泊部屋は男女別で4人1部屋利用となります。

- 主催：一般社団法人 日本支援技術協会
- 共催(予定)：マジカルトイボックス／DonTAC
- スケジュール概略(予定)：



1日目

	入門コース	iOSコース	Windowsコース
12:00	受付		
12:15	【演説】特別支援教育におけるタブレット活用		
13:00			
13:00	【実習】iOS/Win の基本操作 【講義】標準アプリの使い方 【講義】特別支援教育で使えるアプリ	【実習】ノクセシビリティ機能 【講義】特別支援教育で使えるアプリ 1 【講義】特別支援教育で使えるアプリ 2	【実習】ノクセシビリティ機能 【講義】特別支援教育で使えるアプリ 1 【講義】特別支援教育で使えるアプリ 2
18:00	【演習】Keynote/パワーポイントでの教材作成		
19:00	懇親会 虎の穴の奥で		

2日目

	iOSコース	Windowsコース
09:00	【講義】視覚支援のための iPad 活用 【講義】操作支援のための iPad 活用 【グループワーク】課題別に問題解決のための教材製作 1	【講義】操作支援のための Windows 活用 【講義】視覚支援のための Windows 活用
12:00	(Keynote, パワーポイント, Bitsboard, SoundingBoard, ロイロノート, Finger Board)	(Keynote, パワーポイント, SoundingBoard, ロイロノート, Finger Board)
13:00	【グループワーク】課題別に問題解決のための教材製作 2	
16:00	(Keynote, パワーポイント, SoundingBoard, ロイロノート, Finger Board)	

※お申し込みは次のホームページから

<http://www.jatc.jp/>

8月1日発売予定！！



知的障害特別支援学校の ICT を活用した 授業づくり

監修
金森 克浩

編著
全国特別支援学校知的障害教育校長会

ジース教育新社

重度障害者用
意思伝達装置
操作スイッチ
適合マニュアル

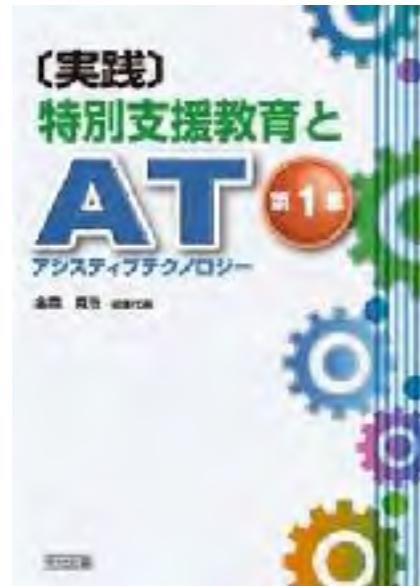


日向野和夫
田中義之郎

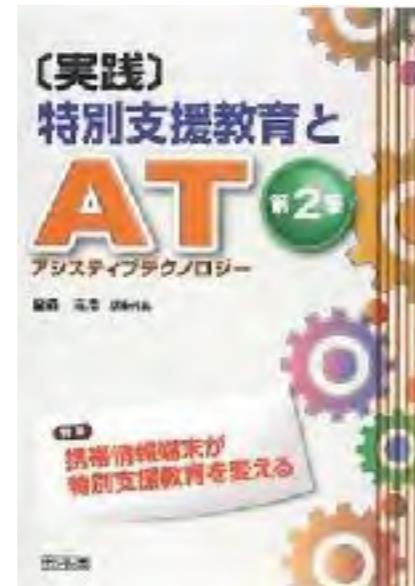


特別支援教育とAT(アシスティブテクノロジー)

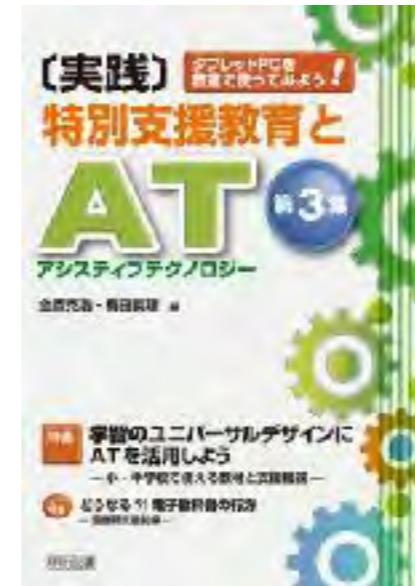
国立特別支援教育総合研究所 金森 克浩



「概論・入門編」



「特別支援教育」



「学習のUD」



「合理的配慮」

各号のキーワード



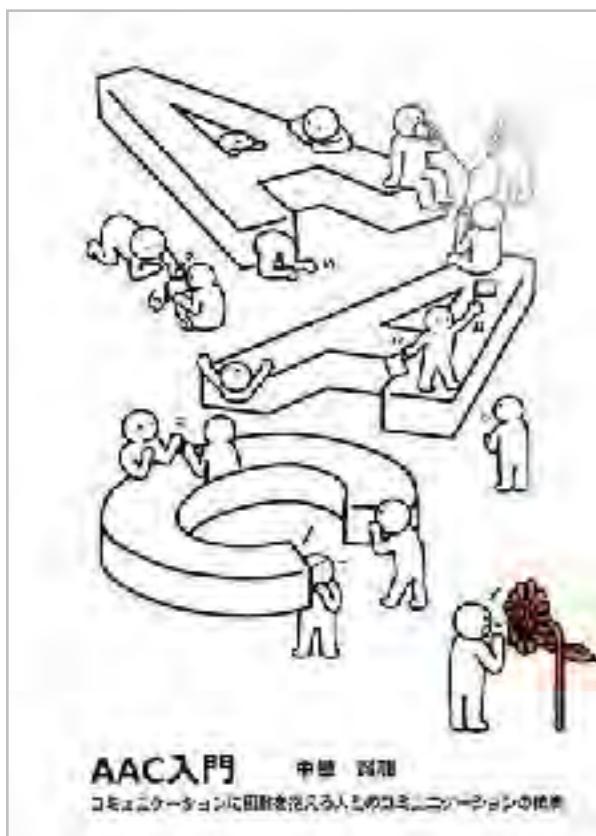
「視覚支援」



「AAC再入門」



「知的障害」



魔法プロジェクト

研究成果



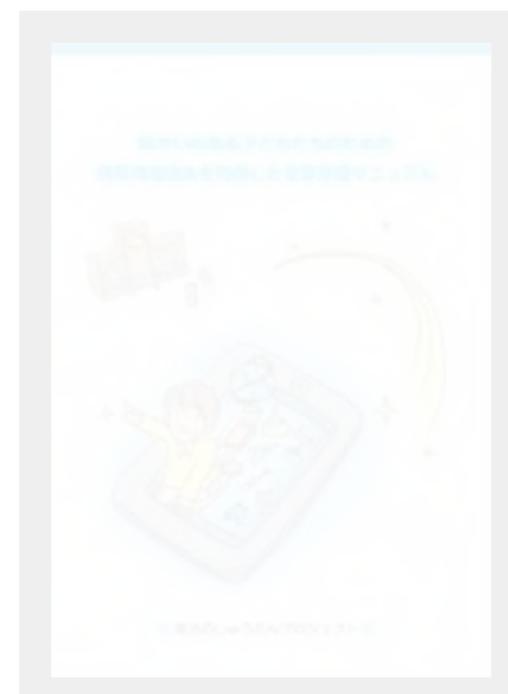
あきちゃんの魔法の
ポケット



魔法のふでばこ



魔法のじゅうたん



魔法のランプ

東京大学先端科学技術研究センターとソフトバンクグループは、携帯電話・スマートフォン等の情報端末の活用が障害を持つ子どもたちの生活や学習支援に役立つことを目指し2009年6月から「あきちゃんの魔法のポケットプロジェクト」をスタートしました。



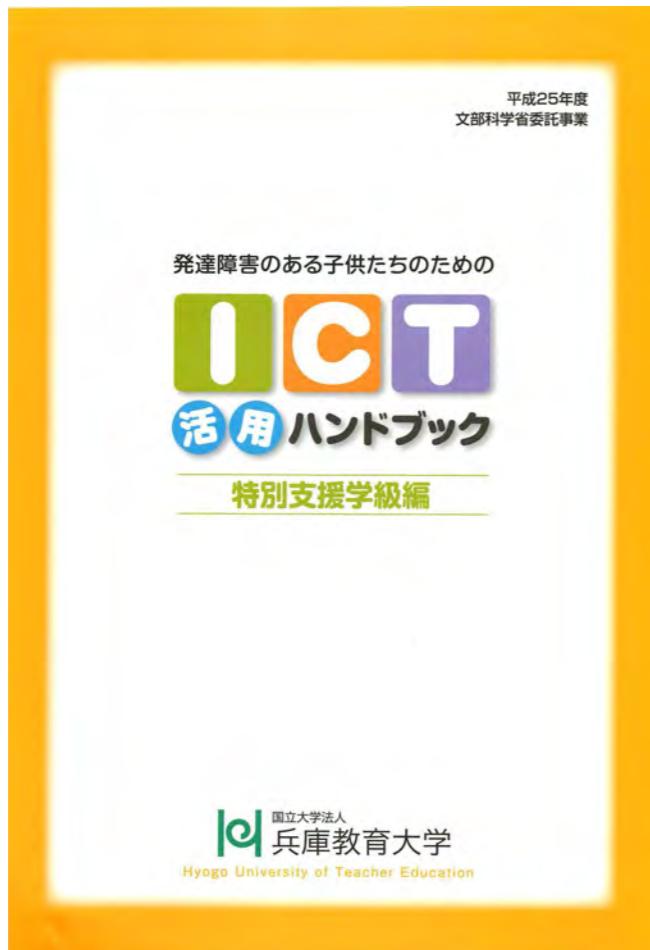
魔法のワンド



魔法の宿題

文部科学省

発達障害のある子どもたちのための ICT活用ハンドブック



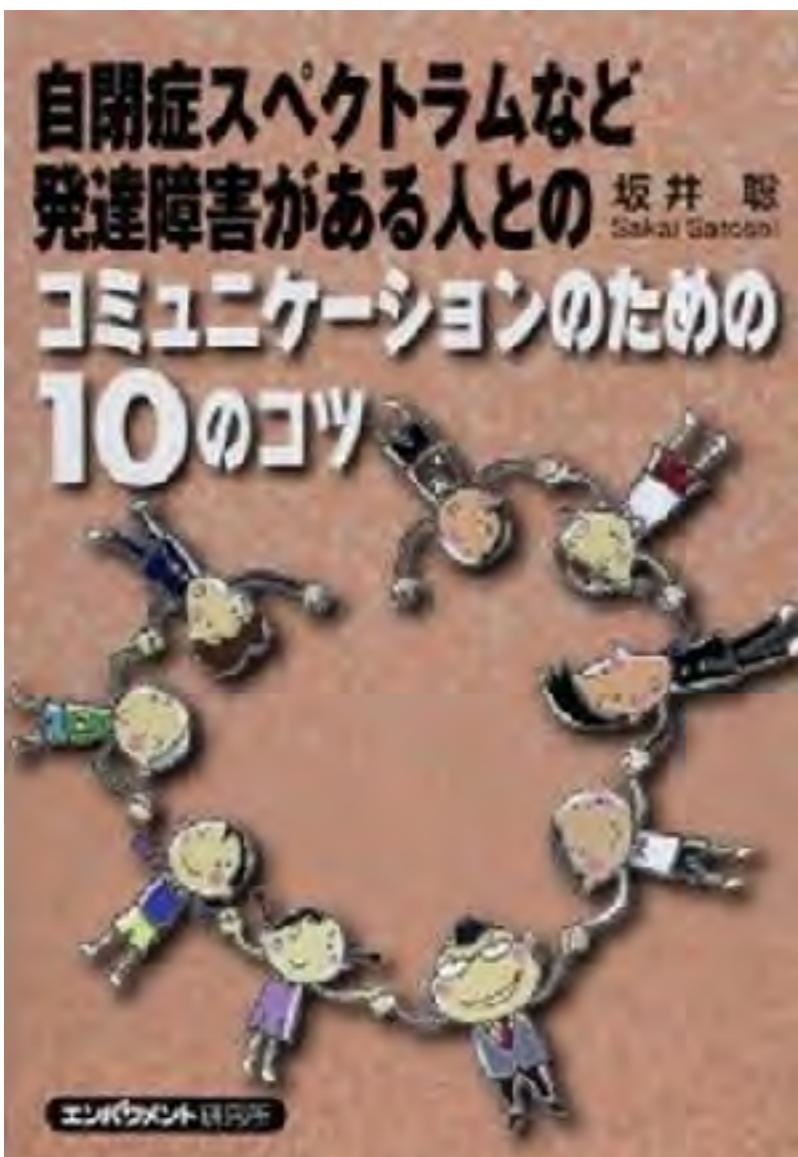
特別支援学級編

通常の学級編

通級指導教室編

香川大学教授

坂井 聰



日本肢体不自由児協会





ATDS

Assistive Technology Dissemination Society

NPO法人支援機器普及促進協会

<http://npo-atds.org>